

大腸内視鏡検査説明書

ひろ内科クリニック
院長 水口泰宏

【目的】

肛門から入れた内視鏡で大腸の病気（ポリープ，癌，潰瘍，炎症など）の有無を調べる検査です。

【検査の方法】

肛門から内視鏡を入れて腸の中を調べます。直腸から大腸の一番奥（盲腸）まで見るのに約 20 分程度かかります。但し，腸の長さや走行状態には個人差がありますので，これより早く終わることも，遅くなることもあります。また，ポリープがあった場合には，内視鏡的ポリープ切除術を行います。

【鎮静剤について】

検査を楽に受けるために鎮静剤の注射をご希望の方は，医師にご相談下さい。高齢の方や心臓病のある方はご希望にそえないことがあります。鎮静剤を注射した場合は 1 時間程度リカバリールームでお休みいただきます。

【偶発症について】

主な合併症としては，内視鏡挿入や処置に伴う穿孔および出血と鎮痙剤，鎮痛剤，鎮静剤によるショックがあります。日本消化器内視鏡が調査した全国調査によりますと，その頻度は 0.06% です。

-

【大腸内視鏡検査同意書】

今回の検査内容について十分理解し必要であると判断いたしましたので検査の実施に同意いたします。

年 月 日

ID _____ 氏名 _____